

令和6年度 No. 9 福井市和田小学校だより 発行日 令和7年2月19日【水】 〒918-8238 福井市和田1-2-1

TEL:22-8817 FAX:22-6121

今年度もあと残すところ」か月となりました。6年生を送る会に始まり、卒業式、教室移動、修了式、離任式と一連のお別れの儀式が続きます。新しい門出に向けて準備に入ります。引き続き、ご協力・ご支援をお願いします。

和田小学校学校評価~児童編~

12月に学校生活を振り返って、児童に対して学校アンケートを行いました。その結果をお知らせします。(裏面に分析あり)

児童アンケート

調査対象:1~6年生の児童 600名(②⑦③⑤⑰⑲②ゐは1~3年は回答していません)

実施期間: 令和6年12月

■あてはまる ■ややあてはまる ■あまりあてはまらない ■まったくあてはまらない

①学校へ通うのは楽しい。 ②服装や頭髪などをいつも正しくしている。 ③携帯やPCでメールのやりとり時に、スマートルールや家庭のルールを守ってい・ ④朝食は、好き嫌いせずバランスよく食べている。 ⑤運動することに興味をもち、目標をもって体を動かしている。 6宿題を忘れずにしている。 ⑦パワーノートに、自分で考えた学習をしている。 ⑧睡眠の大切さがわかり、睡眠時間を十分にとることを心がけている。 9授業がよく分かる。 ⑩授業などで、時間(チャイム)を守って席についている。 ⑪授業中、先生の話や友達の意見をうなずきやまなざしで聞いている。 ②授業中、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりしている。 ③授業中、めあてや課題に一生けんめいに取り組んでいる。 (4) (何授業中、友だちと話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりしてい・ ⑤自分は、道徳の時間には、自分だったらどうかなと考えながら学習している。 ⑩友だちとは、思いやりの気持ちをもって、協力して活動している。 切いじめを見たら、注意したり先生に伝えたり、とめようとすることができる。 18口をとじて、まじめに清掃ができている。 19みんなと何かをするのは楽しい。 ②家の近くの人や家族などに対して役に立ちたいと考えている。 ②ふるさと福井を大切にしたい。 ②つきたい職業など、将来の夢や目指す目標を持っている。 ②お客様や先生、友だち、家族、近所の人に対してあいさつができる。 ②先生は授業をいっしょうけんめい教えてくれる。 ②授業(じゅぎょう)でPC・タブレットなどの機器(きき)をよく使っている。 20先生は、自分の良い点やがんばったことをほめてくれる。

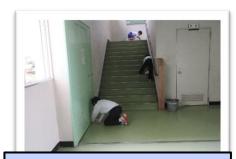
②先生は、質問や相談をするとていねいに答えてくれる。

24 28 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

アンケートと子どもたちの普段の姿を併せて分析すると・・・

ポイント(1) 自己肯定感の高さ

(あてはまる+ややあてはまる)が90%以上の高い評価となったのは、27項目中23項目でした。ほとんどの項目が高評価となっており、和田っ子のがんばりが結果に表れました。また、この結果は、自己肯定感が高い児童が多いことの表れです。今後もよい点を励ましていきたいと思います。一方で、「あまりあてはまらない」や「まったくあてはまらない」と回答した児童がいることから、日頃から児童理解に努め、個に応じた支援を心掛けて参ります。



無言清掃 自分に与えられた場所を 黙々ときれいにします

ポイント② 責任をもった行動

②整ったみなり⑥宿題の提出⑩時間の厳守⑱無言清掃など、学校のきまりを守れていると実感している児童が多いです。和田小学校の一員として自覚をもち、よい学校にしたいという意識が集団の成長につながってきます。大規模校である和田小学校は、最大級の集団を生かすことで学習効果を高めることにもつながっていくと考えます。



集会活動 高学年が中心になってみんなが楽しめる活動を考えています

ポイント③ 教職員と子ども、子ども同士のつながり

②みんなと何かをするのは楽しい98%からお互いを大切にし、協力できる人間関係が育まれていることが分かります。社会性が高まることは個の心の成長にもつながります。また、@@②の設問の肯定的な評価は、児童と教職員の信頼関係の表れです。以上の結果が①学校へ通うのが楽しい99%につながっていると考えます。

ポイント④ 今後の課題:表現力や発信力・ICT機器活用

②考えを説明したり文章に表したりすることに関しては高評価まで届かない児童が多かったです。①の聴くことに関しては自信がある和田っ子ですが、発信することに苦手意識があります。また、②のタブレット活用の評価も高評価にはつながりませんでした。いずれも教師の授業づくりに大きく関わってくる項目です。今後は、児童というよりも教職員の課題と捉え、授業改善に努めていきます。



3年生 英語活動 先生が楽しんで授業 をすれば子どもたちも楽しくなります



低学年 遊ぶ方も遊びを考える 方も楽しんでいます



6年 ICT 機器を活用しながら考えを伝えあう授業も行っています

今回の学校だよりは学校評価を中心にお 伝えしました。9号は児童の結果を、同時に 発行した10号では保護者の結果を中心に 掲載しています。2号を併せて読んでいただ くと、より子どもたちの姿がよく分かります。

